

◆ 2018年度 各委員会・部会からの提言・パブコメ実績一覧

	担当委員会	提出年月日	国名	提出先	タイトル	内容	備考・結果等
1	技術委員会 安全専門委員会	2018.8.3	日本	IEC TC109国内委員会	IEC60664-1の改訂検討	標高1000mにおける要求絶縁距離の標高補正係数が、従来の0.844ではなく0.884に修正される。標高1000mでの要求絶縁距離が厳しくなることから、JBMIA対象製品への影響度を検討した結果、オフィス機器の製品安全規格では標高2000m以下には一律標高2000m相当の絶縁距	意見反映済
2	技術委員会 安全専門委員会	2019.1.10	日本	経産省製安課	電気用品安全法手続き合理化等検討委員会	JBMIAからの意見・要望を提案済 ①特定電気用品の1号検査の課題 ②DC機器の電安法対象化 ③指定品目名の見直し	意見反映済
3	技術委員会 電磁環境専門委員会	2018.11.14	日本	総務省総合通信基盤局	電波利用環境委員会報告（案）に対する意見募集 「国際無線障害特別委員会（CISPR）の諸規格」のうち「マルチメディア機器の電磁両立性 -イミュニティ要求事項-」	電波利用環境委員会報告（案）に賛成いたします。本答申（案）は国際規格CISPR35に整合されており、当産業協会の掌握製品においても利用されることが想定されます。そのため、当産業協会では試験を実施するための業界指針の作成を検討しており、参照規格として統一した試験方法で高い試験再現性を持った国際規格を必要としています。本答申（案）は、その際の参照規格として利用させていただくことができるので、有効なものと判断いたします。	添付資料 答申（案）採択済
4	技術委員会 電磁環境専門委員会	2019.3.7	日本	CSIPR/I	CISPR 35 Ed2.0 (CISPR/I/611/CD)	以下のJBMIAからの意見・要望を提出済 ①用語"compliance"は、レギュレーションへの準拠を示すために使用する用語であり、技術的要件を定めた規格には使用できないため、"Conformance"に置き換える提案 ②ネットワーク機能のエラーレート5%をEUT仕様で規定する提案 ③無線機能のIdle (Standby) の定義を明確する提案	添付資料